

アンケート

技術交流会・巡検・応用地質学講座等の支部行事への希望

こんなご時勢なのでリスク管理や評価に際しての数値目標などが注目されていますし、最近ではプロポーザルで地質リスク評価の業務が結構出ているので、地質リスク関連テーマで官側やゼネコンなどの施工側からの話をしてもらおうというのも良いので地盤工学会中部支部との連携で地質屋さんとは違った切り口の話を知りたいです。

一般市民が参加できる普及活動は、学会が市民にアプローチできる活動であるとともに、市民が地質への興味を持ってもらう貴重な場でもあるので、可能であれば継続して実施できれば良いのではないかと思います。

コロナ終息後に参加者が明るくなるような交流会や鈍った身体が復活するような巡検ができれば良いなと思っています。

他学会との連携の強化および女性技術者の交流会を実施して欲しい

中部地方の代表的地質体の露頭地への巡検（美濃帯・濃飛流紋岩・領家花崗岩類・東海層群など）特に、斜面災害や道路維持管理の観点からの地質特性とそのマッピング事例：複数年を対象地質体毎に企画することもあってよいのでは？

過去に、ナンノ谷・根尾白谷などの崩壊地巡検を企画・実施したが、天候不順のため目的未達成だったことがある。→再企画・実施

付加体中のスラストを露頭で観察する巡検を希望します

他学会、他機関との共催の講座・研修会等の機会を増やして欲しい

本学会が地すべり等、「災害地質」に力を入れていることは、大変素晴らしいことだと思います。

本学会の発展のためには、これらの知識を社会にフィードバックする必要があると思います。このため、もう一步踏み込んで、事後の事象のみではなく、事前予測・予防保全的な見方も含めて『応用』としての「防災地質・減災地質(リスクマネジメント)」の分野にもっと力を入れるべきだと思います。

CPDを取得していきたいので、技術講習等、中部地区であるものがあれば情報をいただきたい。